

☆放課後子ども教室☆

雨風が過ぎるごとに季節が進んでいくのを感じる今日このごろ。ストーブが活躍する時期が再びやってきたようです。木々の葉っぱも赤や黄色に色づき、今年はドングリや栗などのなりも良かったように感じます。日が暮れるのも早くなり、帰るころには日が落ちて暗くなり始めるようになりました。帰り道は交通事故やケガがないよう十分注意していきたいと思います。

今月はいろんな秋を探しに子どもたちとお散歩に出かけるプログラムを行いました。校庭の周りで栗拾いをしたり、ドングリを見つたり。美味しいコクワもたくさん見つけることができました。学校周辺へお散歩に出かけた際には、秘密基地を作ったり、田んぼに実ったお米の様子を見に行ったり、高学年の活動ではたき火遊びも行いました。人生で初めてマッチを擦る経験をした子どももおり、最初はたどたどしい手つきでしたが、何度か練習するうちに上手に火をつけることができるようになりました。秘密基地はやはり子どもたちの憧れなのでしょう。想像を膨らませ、その場に生えている木々や、ススキやイタドリなどの植物を使いながら形をつくっていく姿がとても印象的でした。



10月には2週にわたって特別教室【あつまっ子ふるさと体験教室】を実施しました。10月4日（土）には、今年6月に田植えをした田んぼにて今度は収穫体験です。今回はこれから刈り取りをするお米のことについて、農協青年部の方からお話をしてもらいました。刈り取られたお米が、どのような過程を経てみんなの食卓に上るごはんになるのか、実際に実物のモミ・玄米・白米を見せてもらったり、イラストで説明をしてくれたりと子どもにも非常にわかりやすく解説をしていただきました。町内で収穫されているお米の品種をあてるクイズでは、子どもも大人も一緒になって盛り上がりました。稲刈り体験が終わって、午後からは厚真町子ども会育成連絡協議会のみなさんにご協力をいただき、厚真産の野菜や加工品を使って収穫祭を行いました。カボチャ団子と豚汁を作り、美味しくいただきました。みんな本当によく食べ、鍋の中身はあっという間に空っぽに。素材の良さがきつと子どもたちにも伝わったのだと思います。



農協青年部さんからは
17名ご参加いただきました！

そして、翌週の12日（日）には、4日に刈り取ったお米を精米したものと、厚真の農家さんに提供いただいた野菜をセットにして販売するお店【あつまっ子カフェ】を、あつま新鮮組さんが苫小牧市内で開催する『あつま特産市』にて出店させてもらいました。この【あつまっ子カフェ】は夏休みの特別教室で商工会青年部のみなさんにご協力をいただいて実施し、今回はその応用編として町外で厚真の特産品をPRするお手伝いとしてオープンしました。チラシ配りや接客、販売活動を通じて、地域の大人と一緒に子どもたちも厚真の魅力を発信する大変貴重な機会となりました。ご協力いただいたみなさまに感謝申し上げます。

